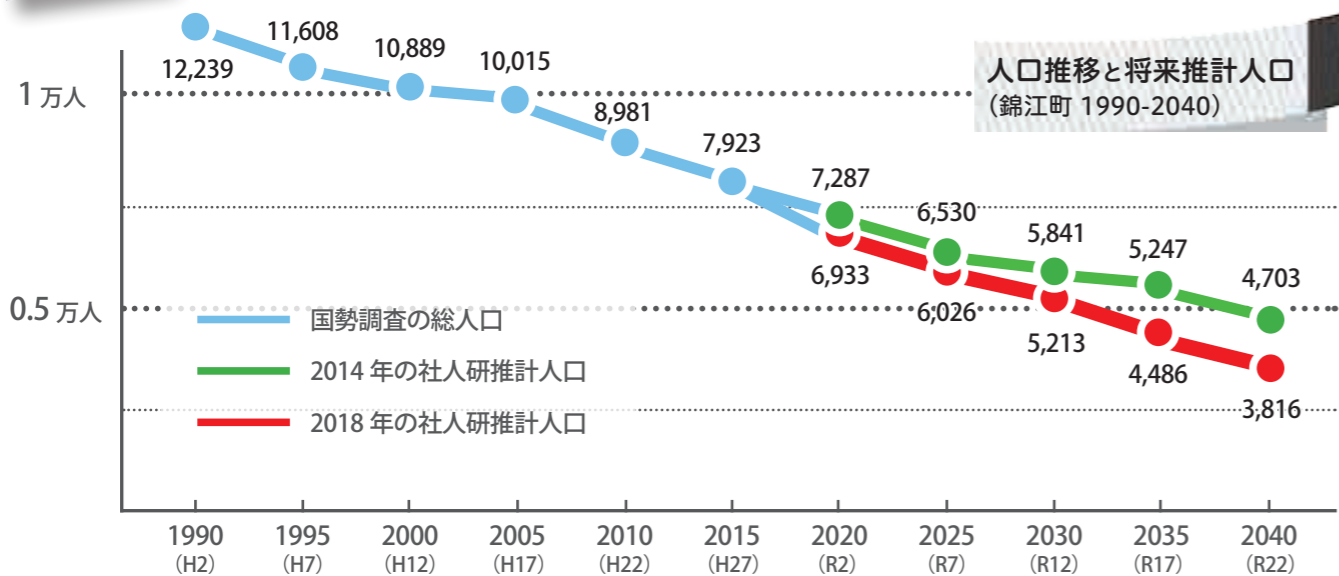


Point 1
 総合振興計画の全容を分かりやすく
 計画の概要版を全戸配布

総合振興計画を16ページに分かりやすく要約した副読本を3月末の自治会送便で全戸に配布してあります。計画の全容は右のQRコードから閲覧できます。



まちの最上位計画 総合振興計画を 全面改訂

総合振興計画を根本から見直し、予測を上回る急激な人口減少への対応や、未来を担う子どもたちへの重点的な投資を盛り込みました。

第2次(令和2年度まで) 錦江町総合振興計画

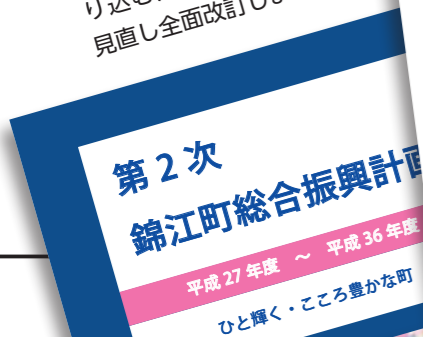
平成27年度から10年間の計画として策定しましたが、予測を大きく上回る急激な人口減少に加え、未来を担う子どもたちへの重点的な投資施策を盛り込むため令和2年度で見直し全面改訂しました。

(令和2～6年度) 錦江町『MIRAIづくり』プロジェクト 第2期錦江町総合戦略

国が示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた5年計画で、第2期として令和2年3月に策定。人口ビジョンから将来展望を見据えた具体的な実行計画という位置付け。

全面改訂版(令和3～6年度) 第2次錦江町総合振興計画

目指すべき方向やビジョンを描いた10年間の指針となる最上位計画で、まちづくりの核となることから「マスタープラン」とも呼ばれる計画。今回は計画期間を4年残しての全面改訂により、令和6年度までの計画として町の基本理念実現に向けて進めます。



将来に夢と希望が持てる「まちづくり」に向けた

選択と集中

これまで経験したことのない急激な人口減や少子高齢化に加え、前例のない新型コロナウイルスの収束に向けた対策。新たな財源確保と事業の選択、住民ニーズを把握したスピード感ある政策実行を進めます。

確実な政策実現を見据えた 錦江町が目指す明確な羅針

過去前例のない新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの日常生活や経済活動は一変しました。事態の一刻も早い収束を目指し、令和3年度も引き続き最優先、最重要課題として対策を進めていきます。

町長就任以来「将来に夢と希望が持てるまちづくり」の実現を掲げ、全力で取り組んできました。令和2年度は町の羅針盤とも言える最上位計画「総合振興計画」を全面改訂。子どもたちからお年寄りまで幅広い年代を対象に述べ33回、400人以上の参加者と町の将来を見据えた意見を交わし計画に反映させました。基本理念である「子や孫へ希望あふ

安心して暮らせる町に向け

将来を担う若者が住み続けるため、新たな産業の創出や展開、住宅対策を中心に政策を進めています。人生の最後まで安心して住み続けられるよう医療や福祉の充実といった生活環境の改善、多様化する社会で性別や世代に関係なく参画できる社会の実現、郷土愛を育み誇れる郷土づくりなど、夢と希望が持てる「まちづくり」に向けた改革を進めます。

「未来を創りつなぐまち」実現に向けた10の基本計画を基に、総合戦略と一体的に、地方創生のより一層の充実と強化に取り組みます。

令和3年第1回 錦江町議会定例会 2021.3.4-19 錦江町議会議場



3月4日に始まった令和3年第1回錦江町議会定例会。初日は「新型コロナ対策を最優先、最重要課題とし、総合振興計画で掲げる10の基本計画に沿って基本理念の実現に向けた取り組みを進める」と施政方針を述べた木場一昭町長。令和3年度当初予算などが審議され、当初予算総額96億4,862万円で新年度がスタートしました。

政策実現に向け、町長が方針を示す

施政方針